

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ

A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－基本配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(校園コード **572183**)

※校園コードを入力してください。

学校名 **市岡東中学校**

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額 **798,000** 円 → 決算額 **781,159** 円

2 配付上限額

学校配当
$$350,000 + 6\text{学級} + 3\text{学級} \times 50,000$$

※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。

配付上限額

800,000

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

全市共通目標

○中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。

○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。

○校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。

○平成31年度の全国体力・運動能力・運動習慣調査において、特に課題であるシャトルラン、50m走、立ち幅とびの平均の記録を、前年度より向上させる。

学校園の年度目標

○校内調査において、「自分は毎日授業に集中することができている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

○中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

3年生: 5教科101.4→102.6 (1.2向上)、達成。3教科95.2→95.2 (1.0低下)、達成せず。

2年生: 80.6→100.4 (9.8向上)、達成。

○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。

3年生: 19.2→26.0 (6.8増加)、達成せず。

2年生: 30.8→23.3 (7.5減少)、達成。

○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。

3年生: 27.4→30.1 (2.7増加)、達成。

2年生: 16.7→27.4 (9.7増加)、達成。

○校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させるについては、平成30年度79.7%から令和元度83.8%へと増加し、達成できた。

○令和元年度の全国体力・運動能力・運動習慣調査において、特に課題であるシャトルラン、50m走、立ち幅とびの平均の記録を、前年度より向上させるについては、

男子

女子

シャトルラン : 77.64→92.36 (14.72回増) 、 52.06→55.22 (4.16回増)

50m走 : 7.94→8.02 (0.08秒速) 、 8.58→8.47 (0.11秒速)

立ち幅とび : 188.22→178.96 (7.26cm減) 、 170.16→180.04 (9.88cm増)

と男女6種目中4種目で記録が向上した。

学校園の年度目標

○校内調査において、「自分は毎日授業に集中することができている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にするについては、79.9%で達成できなかった。

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

取組内容①【施策 よくわかる授業の実施】

教科の特性を活かし、よくわかる授業を積極的に行う。

取組内容②【施策 授業展開の工夫】

ICTの活用やアクティブラーニングを実施するなどにより、生徒が主体的に学習する授業を展開する。

取組内容③【施策 特別活動】

さまざまな体験学習や鑑賞などを実施し、豊かな感性を育てる

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

①授業がよくわかると答える生徒の割合1回目76.0%、2回目77.6%で達成。

②学習に積極的に参加していると回答した生徒の割合1回目82.8%、2回目79.9%で達成できず。

③行事は楽しみであると答える生徒の割合は1回目88.7%、2回目90.3%で達成。

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合は平成29年度69.5%、平成30年度79.2%と増加の傾向にあつたが、まだまだ主体的で深い学びの授業展開ができ切れていないと感じていた。そのため、平成31年度(令和元年度)は「主体的・対話的で深い学び」の推進プロジェクトに参加し、学校を挙げて授業改善の取組を進めてきた。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
さまざまな体験学習や鑑賞などを実施し、豊かな感性を育てる			B
①予算内訳 委託料 芸術鑑賞に対する委託料 450,000 報奨金 @4000×7名 28,000			
②決算内訳 委託料 芸術鑑賞に対する委託料 350,000 報奨金 @11,160			
(2)取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
教科の特性を活かし、よくわかる授業を積極的に行う。 ICTの活用やアクティブラーニングを実施するなどにより、生徒が主体的に学習する授業を展開する。			B
①予算内訳 プロジェクター (電子黒板機能付き) @160,000×2台 320,000			
②決算内訳 プロジェクター @176,580×1台=176,580 プロジェクター (コンセント・ケーブル付き) @243,419×1台=243,419			
(3)取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
①予算内訳			
②決算内訳			

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。
委員会使用欄は空欄としてください。